



赤十字えひめ



支部長メッセージ



県民の皆様には、日頃から赤十字事業の推進に温かい御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、自然災害が頻発化・激甚化する中、救護班等の派遣や救援物資の配布など、総合力と専門性を発揮して被災者支援に取り組む日本赤十字社に対する期待の高まりを感じております。

今後とも皆様の信頼にお応えできるよう、地域防災力の向上や、ボランティア・青少年赤十字の活躍促進などに注力してまいりますので、引き続き、県民の皆様の手と健康を守る赤十字活動に御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

日本赤十字社愛媛県支部 支部長 中村 時広

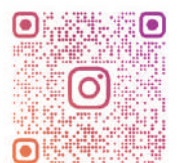
目次

- 01 ～伝えるやさしさ、私からあなたへ～ 赤十字運動月間（5月）・イベント紹介
- 02 奉仕団活動紹介～地域でつくる安心のまち～
- 03 青少年赤十字活動紹介～思いやりの心が地域と世界をつなぐ～
- 04 災害に備えて、赤十字は。
- 05 平時の救護訓練・研修について
- 06 赤十字防災セミナーで災害に負けない地域づくり
- 07 救急法等講習会について
- 08 赤十字活動資金のゆくえ
- 09 遺贈相続財産寄付について～あなたの財産を誰に託しますか？～
- 10 令和6年度決算・令和8年度予算

許諾番号2803037
愛媛県イメージアップ
キャラクター
みきゃん



日赤愛媛県支部公式
Instagramにて活動公開中▶



EHIME.NISSEKI321

5月は 赤十字運動月間です

日本赤十字社は、毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。

日本赤十字社の災害救護や救急法等講習事業、ボランティア活動など様々な活動は皆さまからお寄せいただくご寄付で成り立っています。

引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いします。

5/10

○ 第2回赤十字フェスタ in 松山大街道商店街 ※表紙写真 参照

令和7年度テーマ「伝えるやさしさ、私からあなたへ」

赤十字の活動を広く皆さんに知っていただくため普及啓発イベントを開催しました。

松山南高等学校JRC部の皆さんが司会を務め、愛媛大学教育学部附属小学校コーラス部の美しいオープニングコーラスと、松山商業高等学校書道部の圧巻のパフォーマンスでイベントを盛り上げていただきました。

さらに、松山市赤十字奉仕団、大学生ボランティアも加わり、大街道商店街をパレードしながら、道行く方へ運動月間へのご協力を呼びかけました。



9/23

ワールド・ファーストエイド・デー in エミフルMASAKI

突然の心停止が起きた場合に、いち早い手当てができるようAEDを用いた心肺蘇生の方法や、小さなお子さんがのどに物を詰まらせたときの取り除き方を赤十字の指導員が来場者へお伝えしました。

「子どもへの手当てはこれまで習っていなかったもので勉強になりました」といった感想をいただきました。



11/2

事故防止啓発イベント in 愛媛県立とべ動物園



ケガ等への応急手当ての方法や、冬場に増加する“ヒートショック”について、楽しく学んでもらうことを目的として、予防啓発クイズを実施し、多くの家族連れや子どもたちで賑わいました。

ヒートショックは、家庭でできる小さな工夫で予防できるため今後も継続して、予防啓発活動に取り組みます。



奉仕団活動紹介～地域でつくる安心のまち～

7/27

● 四国中央市 ●

四国中央市伊予三島赤十字奉仕団と川之江赤十字奉仕団の皆さんが、書道パフォーマンス甲子園の会場内にブースを出展し、赤十字のPR活動を実施しました。

来場者に対して、手作りのチラシ配布やパネル展示を行い、地域の方々に赤十字の使命や役割を伝える貴重な機会になりました。



9/30

● 松山市 ●

松山市赤十字奉仕団の皆さんが、「赤十字ぬくもり子育て広場」にて、保護者の方が育児に関する講習を受けている間、子どもたちの見守り活動を実施しました。

奉仕団からは「子どもたちが可愛くて心が癒やされた」、保護者の方から「講習をじっくり聞くことができた」など、温かい反応が寄せられました。



11/18

● 伊方町 ●

伊方町瀬戸赤十字奉仕団の皆さんが、地域で一人暮らしをされている高齢者の方々に向けて、季節の食材を使ったお弁当づくりを実施しました。

団員同士で声を掛け合いながら丁寧に仕上げ、地域の食と安心を支える力として活動に取り組みられました。



青少年赤十字活動紹介～思いやりの心が地域と世界をつなぐ～

11/7

● 第67回青少年赤十字研究会 ●



松野町立松野西小学校で研究主題を「共に学び、生き生きと学習に取り組む児童の育成」とし、地域のよさを生かした体験的な活動を通し、子どもたちが自身が主体的に考え、実行することができる力を養うことを目的とした取り組みを発表いただきました。



1/24

● 赤十字国際セミナー ●



国際活動経験が豊富な日赤職員の指導のもと、県内の高校生を対象に国際人道法をテーマに「なぜ戦争にもルールが必要なのか」をロールプレイ形式で学びました。

高校生一人一人が国際社会の一員として、他者を思いやり行動する大切さを考えるきっかけとなりました。





4/21

救護員任命式

赤十字では毎年、災害時に医療救護活動を行う医師・看護師・事務職員等を「救護班」要員として任命しています。任命された救護要員は、赤十字の使命と責任を再確認し、いつでも支援に向かえるよう救護研修を重ねています。

災害発生時には、被災地での負傷者救護をはじめ、医療機関との連携や物資調達など、命を守るための活動を迅速に展開します。

任命式は、その覚悟と備えを新たにし、地域の安心を支える力を結集する大切な節目です。



9/26

赤十字 救護員研修

災害現場では、状況の把握から救護所の立ち上げ、情報の共有まで、一つひとつの判断と行動が被災者の命を左右します。救護班要員研修は、こうした現場で求められる基本技術と実践力を体系的に身につけるためのプログラムです。

研修では、救護所設営の手順、傷病者の状態を把握するためのバイタルサイン確認、無線機を用いた情報伝達など、災害救護の基礎を段階的に学びます。さらに、実際の災害を想定した演習を通じて、迅速な判断力やチームとしての連携力を高め、現場で即応できる体制づくりを目指しています。



赤十字は。

11/26

赤十字救護員研修(こころのケア)

災害時には、身体の救護と同じように、被災者や支援者の心の状態に丁寧に向き合うことが求められます。日赤愛媛県支部では、救護要員が心理的支援の基本を身につけ、現場で安心感を届けられるよう「こころのケア研修」を実施しています。

研修では、被災者や支援者に生じやすい心の変化を理解し、落ち着きを取り戻すための声かけや環境づくりのポイントを学びます。また、令和6年能登半島地震の支援で実際に行われたリラクゼーションを取り入れた傾聴演習を通じて、相手の気持ちに寄り添いながら支えるための実践的な手法も習得しました。

こころのケア研修は、救護活動の中で「人に寄り添う力」を高め、被災者が安心を取り戻すための大切な支援力を育む場となっています。



9/7

令和7年度愛媛県総合防災訓練(宇和島市)

愛媛県総合防災訓練は、前日から大雨に続いて南海トラフ地震が発生し、建物倒壊やライフラインの途絶、さらに各地で土砂災害が同時多発するという複合災害を想定して実施されました。広範囲に及ぶ被害に対し、県内の関係機関が連携しながら迅速に対応する体制を確認することが目的です。

日赤救護班は、現場に設置された応急救護所で、傷病者の状態を見極めるトリアージや医療機関への搬送判断など、実際の災害対応に即した一連の流れを訓練しました。重症者を優先して搬送する手順や関係機関との調整を実動形式で行うことで、現場で求められる判断力と連携力の強化を図りました。





令和7年度中国四国各県支部合同災害救護訓練(高知県)

中国四国各県支部合同災害救護訓練は、広域で発生する大規模災害に備え、複数県が連携して救護体制を確認することを目的に実施されています。令和7年度は、高知県に各県の救護班が集まり、救護所の設営や避難所での巡回診療に加え、災害本部の運営や関係機関との調整など、広域支援に必要な実務を総合的に訓練しました。

近年、災害が複雑化・広域化する中で、県境を越えた協力体制の強化は欠かせません。本訓練を通じて、各支部が互いの役割や連携手順を共有し、実際の災害時に迅速かつ統一的な支援が行えるよう体制の充実を図っています。地域の安全と安心を守るため、今後も広域連携の強化に取り組んでいきます。



令和7年度肱川総合水防演習

大洲市肱川流域で実施された水防演習では、豪雨時に想定される河川氾濫への備えとして、地域の防災力を高めるための実動訓練が行われました。肱川は豪雨による水位上昇や氾濫リスクが高く、流域全体での迅速な対応が欠かせません。

日赤救護班は、関係機関と連携しながら、救護所での傷病者の安定化や医療機関への搬送手順を確認し、水害特有の状況下で求められる救護体制を検証しました。現場での動線や連絡体制を実際に確かめることで、豪雨災害時により確実に支援を届けるための連携強化につなげています。



救援物資の備蓄

被災直後の不安を少しでも和らげ、安心して過ごせる環境づくりができるよう毛布や衛生用品、安眠セットなどの避難生活に必要な物資をお届けできるように備蓄しています。

主な備蓄物品

毛布/緊急セット(衛生用品、ラジオなど)/
安眠セット(マット、スリッパ、耳栓など)/
タオルケット



赤十字ボランティアによる防災への取り組み

地域赤十字奉仕団等ボランティアは、災害に強い地域づくりやお互いに支えあえる関係づくりを目指して、日頃から防災の啓発活動や支援のための研修に取り組んでいます。

被災者支援研修



リラクゼーションを体験し、ボランティアだからこそできる被災者に寄り添った支援が行えるよう研修を行いました。

防災ポンチョ作り



奉仕団から小学生へゴミ袋を活用したポンチョ作り等の防災講座を行いました。いざという時の備えや、共に助け合うことの大切さを学びました。

赤十字ボランティア 募集中

ボランティア活動への参加にご興味のある方は、日本赤十字社愛媛県支部までお問い合わせください。
※内容によってはご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。



災害に備えて、

赤十字防災セミナーで災害に負けない地域づくり

近年、豪雨や地震などの自然災害が激甚化、頻発化する中で、地域全体で防災力を高めることが求められています。

当支部では、災害時に自分や家族を守るための知識と技術を身につけ、地域で助け合う力を育むことを目的として地域での防災訓練や教育現場、企業の研修会などで赤十字独自の防災プログラムを実施しています。

また、要配慮者の体験や、段ボールベッドの組み立て体験を通して、避難所で起こりうる問題や課題を考え、自分にできる備えを見つめなおす体験学習も行っています。



実績（12月末時点）

開催回数 47回
受講者数 3,550名

実施場所

- ◆ 宇和島市立岩松小学校
- ◆ 愛媛県視聴覚福祉センター
- ◆ 四国中央市松柏公民館
- ◆ 住友重機械工業株式会社 愛媛製造所西条工場

掲載について、了承をいただいた団体様を掲載しております。

赤十字防災セミナーの
詳しい内容について▶



救急法等講習会について

地域の皆さまが安心して暮らせる社会を目指し、応急手当や救急法などの講習会を学校の授業や地域でのサロン、企業での研修会等様々なシーンで開催しています。

実績（12月末時点）

各種講習実施回数 209回
受講者数 6,486名

実施場所

- ◆ いまばりファミリーサポートセンター
- ◆ 愛媛大学教育学部附属幼稚園
- ◆ 生石保育園
- ◆ 松野町立松野中学校

掲載について、了承をいただいた団体様を掲載しております。

救急法

AEDを使用した心肺蘇生、
止血の方法、搬送 など



水上安全法

泳ぎの基本、着衣泳、
溺れた人の救助方法 など



幼児安全法

子どもへのAEDを用いた心肺蘇生、
けがの手当、災害時支援 など



健康生活支援講習

自立した生活の仕方や工夫、
認知症の方への対応、災害時支援 など



学校、自治会、企業などで開催をご希望の方は、日本赤十字社愛媛県支部へお問い合わせください。



日本赤十字社が行う各種活動は皆さまから いただいたご寄付で成り立っています

皆さまからお寄せいただく活動資金はこのような救援物資の整備にも活用されています



愛媛県内発災時にもお届けしました！



松山市緑町土砂災害



今治市・西条市林野火災

表彰受賞者（敬称略 五十音順）

2025年4月以降にご寄付いただき、掲載についてご承いただいた方を掲載しています。

社長感謝状

- ◆ 大澤建設工業株式会社

金色有功章

- ◆ 四国医療サービス株式会社
- ◆ 肱川産業株式会社
- ◆ 有限会社田中金属
- ◆ 二神 光徳
- ◆ 村上 道照

銀色有功章

- ◆ あさの胃腸内科クリニック
- ◆ 株式会社池田喜伴商店
- ◆ 株式会社梶村造園
- ◆ 後藤 竜太
- ◆ 株式会社西条ドライビングスクール
- ◆ 株式会社紫蘭
- ◆ 田中 英樹
- ◆ 日野整形外科医院

- ◆ 増永食品株式会社
- ◆ 山内歯科医院
- ◆ 株式会社 Mr
- ◆ 株式会社南伊予養鶏
- ◆ 八幡浜汽船有限会社
- ◆ RADIA LANCE Ciel
株式会社

遺贈 相続財産 寄付 について

～あなたの財産を誰に託しますか？～



遺贈相続財産寄付に
関するお問い合わせ



相続人がいない方の
財産は国庫へ帰属※

国庫に入ると…

本人の望む社会貢献活動や愛媛県、地
域の方へ必ずしも還元がされません。

※遺言書を残していない場合



赤十字へ遺贈・
相続財産寄付

主に愛媛県の災害救護・
医療・福祉・教育などの
いのちを守る活動へ
活用されます。

使途が
明確



……日本赤十字社の表彰（年額2,000円以上の寄付者が対象）……

特別社員
2万円～



銀色有功章
20万円～



金色有功章
50万円～



社長感謝状
金色受賞後 50万ごと



……国の表彰……

厚生労働大臣感謝状

個人：100万円 法人等：300万円



紺綬褒章

個人：500万円 法人等：1,000万円



赤十字活動資金へのご協力方法

伊予銀行・愛媛銀行からお振込み

- 伊予銀行一万支店（普通）1931277
- 愛媛銀行道後支店（普通）5997238

振込先 日本赤十字社愛媛県支部

クレジットカード

クレジットカードでご協力いただける方は、
右の二次元コードからお申込みください。



口座振替

毎月/年1回など、ご希望の頻度と額で定期的にご寄付
いただけます。申込書をお送りいたしますので、愛媛
県支部までご連絡ください。

令和6年度決算

※差額の112,228千円は次年度に繰越

歳入
332,214
(千円)

- 活動資金収入 254,205
- 事業収入・その他 78,009

歳入合計 332,214

歳出
220,986
(千円)

- 国際救援活動のため 766
- 各市区町村での赤十字活動のため 23,249
- 赤十字会員増強と広報活動のため 28,677
- 県内施設の整備や本社が行う事業のため 41,970
- 災害対応や施設整備等にかかる積立のため 15,025
- 業務運営管理等のため 46,714
- 災害救護活動のため 23,781
- 救急法等講習普及のため 40,804

歳出合計 220,986

令和8年度予算

歳入
261,187
(千円)

- 活動資金収入 189,000
- 事業収入・その他 72,187

歳入合計 261,187

歳出
261,187
(千円)

- 国際救援活動のため 850
- 各市区町村での赤十字活動のため 23,396
- 赤十字会員増強と広報活動のため 37,947
- 県内施設の整備や本社が行う事業のため 29,675
- 災害対応や施設整備等にかかる積立のため 35,346
- 業務運営管理等のため 50,503
- 災害救護活動のため 30,370
- 救急法等講習普及のため 53,100

歳出合計 261,187

